

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

L 千賀、SL 大石、大川、西、山崎、矢古宇、湊

2. 山域／ルート

北アルプス 五竜岳

3. 交通手段

車

4. 行動記録 <入山日 2022年4月29日 下山日 2022年4月30日>

4月28日 神戸 20:00⇒2:00 五竜遠見スキー場

4月29日 テレキャビン 8:15 ⇒ 9:00 地蔵の頭出発 →12:20 西遠見山手前の池 2200M
テント設営

4月30日 2:00 起床 4:15 出発 → 5:50 五竜山荘 6:05 → 7:50 五竜岳 8:10 →
9:15 五竜山荘 9:40 → 10:25 西遠見山手前の泊地 11:40 → 12:00 大遠見山
→ 12:40 中遠見山 13:00 → 13:20 小遠見山 13:35 → 14:15 地蔵の頭
14:30 → テレキャビン上 14:40 ⇒ テレキャビン下 15:00
大町温泉郷 ⇒ 帰神

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

天候不良のため、当初計画の唐松岳からの縦走を五竜岳ピストンへ計画変更した。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

【参加メンバー感想】

・大石さん:

今回、足の手術後初めてのアルプス雪山山行だったので、体力、歩行力の不安が大きく、すごく悩んだうえエントリーしました。弱気な私の申し込みをリーダーは快く受けてくれて、共同装備の分担も配慮してもらって参加させてもらうことになりました。

GW前半の気象予報がいまいちの中、リーダーの的確な行動判断で、これ以上無いと言うくらい
の青空の中ピークを踏むことが出来ました。すぐそばに鹿島槍、その奥に槍ヶ岳、遠くに富士山も
見え、白馬岳へと続く後立山連峰の稜線、そして大好きな剣岳、立山連峰。360度の素晴らしい景
色を堪能させて頂きました。手術前は歩くこともままならない状態だったし、術後も体勢の制限が
あり、もうこんな山行は出来ないかなと思っていました。それなのに五竜岳のピークに立てている
と思うと…嬉しさが込み上げてきて…思わず…。

今回参加の皆さんとご一緒させて頂いて五竜登頂が叶いました。共同装備を負担して頂き、歩
行の様子を気づかって下さった皆様、ありがとうございます。忘れられない山行の1つとなりまし
た。

また、東京の単独行の方と前後しながらずっとご一緒だったのですが、その方が別れ際に
「皆さん山岳会か何かですか？こんな楽しそうな山岳会もあるんですね。」
と言ってくれたのがなんか嬉しかったです。

大石貴子



2日目快晴・雲海の中五竜山荘へ向かう



山頂までもうすぐ！

・山崎さん：

立てないと思っていた五竜岳山頂。今回、むしろ楽しむ余裕を持って登れたのは、千賀さん、大石さん、西さんはじめ手厚いサポートをしてくださった皆様のおかげです。ありがとうございました！

冬山教室修了後の最初の雪山。雨の予報を受け、登りたい気持ちよりも怖くて不安な気持ちが強く、意欲低めのスタートです。途中、何度も「ここまでで私はもう満足」と思いましたが、そう言える雰囲気ではなく。「どこまで行けるかな。山頂まではきっと無理。引き返したいと言おう？でもきっと一人で帰らせてはもらえない。付添いに誰かを巻き込むのは申し訳ない。でも怖いし…」とグルグル考えながら進みます。

みなさんのサポートを受けながら歩いているうちにどんどん山頂が近づき、五竜山荘辺りで登頂できるかも？と思い始めました。その先のトラバースやちょっとした岩場は予想外にも楽しいとさえ感じ、恐怖を予想していた雪壁も余裕はないものの割とすんなり通過。

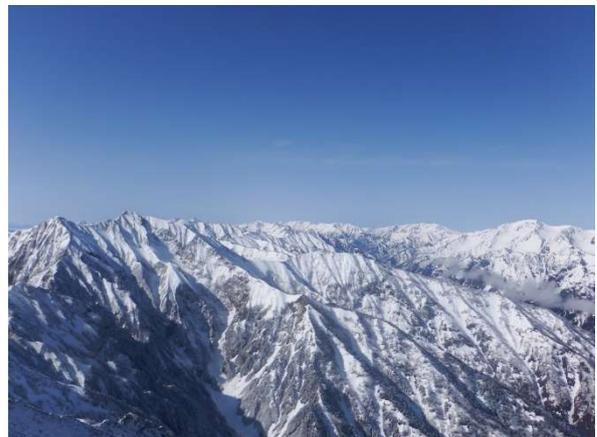
ついに気づけばそこは山頂！眼前には快晴の北アルプスの大展望が広がっています。景色に、全員がそこにいることに感動し、来てよかった、来られてよかったと心から思いました。

行きたくないと言った自分が恥ずかしい…

結果的にロープを使うことも、それほど怖いと感じることもなく、無事下山に至りました。たくさんのフォローをしていただいたからこそだと感じています。雪上歩行技術、全体的な体力などまだまだ課題もたくさんですが、今回の山行でまた一つ貴重な経験を積むことができました。みなさま、本当にありがとうございました！



ドキドキの笑顔



頂上からの大展望

西さん:

冬の遠見尾根から五龍岳を何度チャレンジしただろうか。軟弱者には、なかなか登ることを許してくれない山だった。でも、遠見尾根は登頂できなくてもお天気がよければ、素晴らしい絶景を眺めながら歩けるコースだ。今回は、1日目に大遠見か、西遠見まで行けなければ頂上は無理だと思った。なんとか、12時頃までお天気がもち、雪の状態も良かったので、西遠見近くで TENT を張ることができたのは、ラッキーだった。そこで一瞬五龍岳？が見え歓声が上がったが、ほんとに一瞬だけで、その日の雨は、覚悟してたけど、ひどかった。一番こまったのは、トイレだ。泣きたかった。それでも、明日の晴れを信じて、2時に起き、4時に出発するため準備したが。

風がひどかった。端で寝ていたので TENT が風で押され私も押された。ちょっと様子を見るしかないか、と思っていたが、4時前には風も弱まり、ほぼ予定どおり出発できた。なかなか頂上は遠かったが、素晴らしいロケーションにテンションは上がった。何度ヤッホーと叫んだだろう。広がる雲海、鹿島槍や劔岳、白馬三山、唐松岳、槍ヶ岳や富士山など、圧倒的な存在感で迫ってきた。泣きたいくらいの絶景だった。雪をかぶった五龍岳に、7人全員で登れた事がうれしかった。復帰した。さんと登れたのも、すごく嬉しかった。

そして、頂上でみんなでヤッホーと叫んだ♪

今年最後の雪山は、私にとって最高の山行となった。同行してくださったみなさんに感謝です。



1日目一瞬だけ姿を見せた五龍岳



五龍岳山荘から頂上を望む

湊さん:

春山合宿・五龍岳山行。天候に恵まれ最高の山行となりました。当初は、初日の天候が曇りのち雨の予報。行程を縮小しての計画も実施の可否が前日まで持ち越されました。リーダーの決断により決行。決行して大正解。千賀リーダーありがとう。

初日は雨の降りだしを気にしながら行けるところまで行こうという計画。西遠見山手前の 2200m の池の在る辺りで幕営をしました。目の前には五龍岳や鹿島槍を望む絶景ポイントでした。翌日は、歩き出しこそ風が強かったものの、雲海・晴天に恵まれ雪も早朝は締まっていた、順調に歩を進めることができました。快晴の中でみんなが山頂に立てたことは、最高の思い出になりました。特に大石さんの感動には、思わずもらい泣きをしてしまいました。

大川さん:

春山合宿 五龍岳 感想

今回の山行は天候がめまぐるしく変わった。アタックの前日は雨が降り、夜まで続いた。未明に雨は止んだが強風が吹き付けた。今回も無理かなと思ったが、明け方に急回復し東の空に雲海が出て素晴らしい天気となった。

いざ出発しようとした時、持参したアイゼンが冬用の 12 本爪でなく、夏の雪渓用の爪がまん丸でプレートのない 10 本爪と判明して急な雪面の登下降が出来るか、不安になったが、雪が凍ってい

なかったので、決行した。

歩いてみると、多少安定感は欠いたが、慎重に足を置けば大丈夫だった。

遠見尾根は素晴らしいロケーションで、五竜岳の G0~G5、鹿島槍ヶ岳の北壁・天狗尾根・東尾根、白馬三山、富士山、槍ヶ岳等雪のついた憧れの山々を見ることが出来た。五竜岳の山頂からは、おなじみの劔岳とも再会できた。

頂上から私たちの付けたトレースが綺麗に続いているのが見えた時は感動した！ 困難はあったが、みんなでチームワーク良く登頂成功出来て、良かった！！

下山中に、虹色に輝く「彩雲」と五竜岳の山頂を越えていった「イヌワシ」(たぶん)も見ることができた。

なんとも幸福な春山合宿だった。

企画をしてくださった千賀さん、同行してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

2022年5月4日 大川 肇

矢古宇さん：

雨の山行になりそうだし、軽量化しないといけないし。モチベーションが上がらず臨んだ春山合宿。唐松～五竜縦走から五竜岳ピストンに変更。ザックは何とか 16.5 キロ。さあ出発！ トレースがあり、登りやすく、雨直前、昼過ぎにテン場到着。テント張りながら一瞬姿を現した五竜岳。が、すぐにお隠れに。残念。外は風雨、テント内はまったり。軽量化でアルコール持たずだったが、居酒屋テント ♪でお裾分けしていただいた。感謝感謝です。早めに就寝したが、夜中はテントがひしゃげる程の強風。明日は登れるのだろうか！？

翌朝、雪はあがり、五竜はくつきり！ 出発時までは風が強かったが、歩き始めたら次第におさまり、うっすら赤く染まる五竜！ ピーカンで歩きやすく、どんどん進み、7人皆で山頂に！ 360度の山々の眺め。鹿島槍、富士山、槍、唐松—— 贅沢な時間だった。

皆さん、ありがとうございました！ 次回は軽量化でもアルコールを持てるよう、色々検討の余地はあるかも！？

千賀：

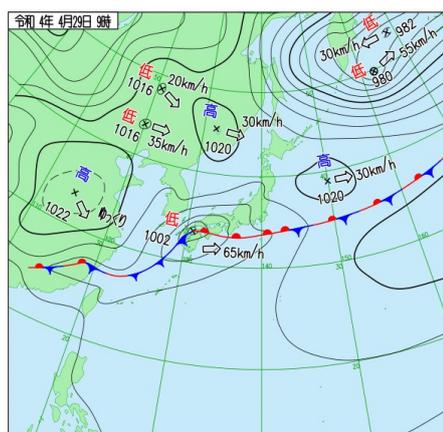
今年のGWは雨予報。出発前の天気予報とにらめっこし、雨の降り出し時間と初日と2日の行動計画イメージを何度も練り直す。参加者の多数意見は、山行実施希望多数だが雨や嫌。僕もその意見と同じだった。1日目の予報は雨の降り始めは昼頃、しかも降雨開始は温暖前線面なのシトシトからの降り始めで天候が読みやすい。雨は夜更け過ぎに雪へと変わり、2日目早朝には雪も止み急速に天候回復し、雲海・快晴・新雪となる好条件。この時期にしては気温も下がり歩きやすい。いい条件がそろっている。これは行くしかないだろう。メンバーからは観天”希望”の声も聞こえてくるが、そんなの気にせず北アルプスへ向かった。1日目こまめにレーダーナウキャストを見ながら歩を進める。天候の進みは予想通り。みんなの足取りもしっかりしており、雪も締まっていて予定通り西遠見山手前の池まで到達できた。無事雨に降られ始めるころトイレを終えてテントに入ることができた。昨日の寝不足を解消すべくまったりと過ごす優雅な時間を楽しんだ。2日目朝、予想より風が強く出発を後らせるかもとSLと相談。だんだん風も落ち着く予想なので安全の心配はないが、出発時間を遅らせれば登頂可能性が減っていく…。少し悩んだが、結果予定通り出発することとした。西遠見山までは風が強かったが、その後急速に弱まりいい感じに。雪も硬く締まっていてアイゼンがいい感じに決まる。雪崩の心配も少なく白岳を經由せず、五竜山荘へトラバースする。五竜山荘からは夏道に昨日の新雪が積もっている状態。夏道のマーキングもはっきり見える。ほぼ夏道通しに頂上まで進みザイルも使用せずいとも簡単に頂上まで到達できた。

ようやく登頂できた十何年越しの積雪期五竜岳だったが、時期がGWでは簡単すぎたようだ。

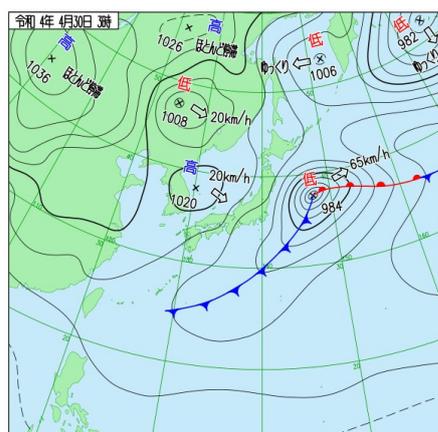
今回一緒にいただいた皆様、雨予報にもかかわらず一緒にいただきありがとうございました。
次回はガッツリ雪残った3月の五竜を計画しますので、ぜひ一緒にしてくださいねー



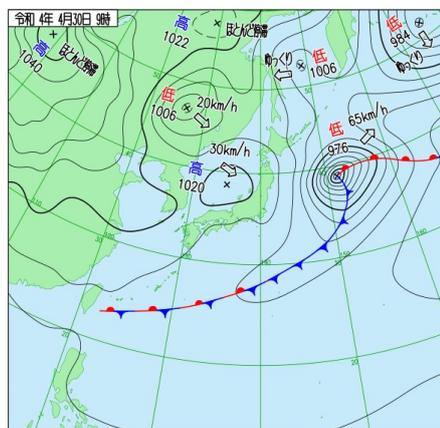
五竜岳頂上にて！



出発時 これから雨～



2日目起床時 等圧線間隔狭く風強い



2日目登頂時 高気圧前面で快晴！